

令和4年度第2回（第57回）浜田市行財政改革推進委員会 会議録

日時 令和4年12月27日（火）

13時30分～15時10分

場所 浜田市役所本庁舎4階 講堂ABC

[進行／行財政改革推進課長、会長]

◆ 開会（13時30分）	
行財政改革推進課長	<p>ご案内しておりました時刻になりましたので、只今から令和4年度第2回浜田市行財政改革推進委員会を開会します。</p> <p>委員の皆様には、本日お忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>私は事務局を務めます、行財政改革推進課の湯浅です。</p> <p>はじめに、この会議は、公開で行いますのでご承知おき願います。</p> <p>開会に当たり、光延会長からご挨拶をお願いします。</p>
1 あいさつ	
光延会長	<p>高いところから失礼します。今年も残すところ3、4日となりましたが、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。本日は2つ議題がありますので、皆さまと色々議論を進めながら決めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
行財政改革推進課長	<p>続きまして、本日の資料を確認させていただきます。</p> <p>本日お手元に、レジュメ、出席者名簿をお配りしています。また、先般、事前送付しました資料1、参考資料1及び資料2-1～2-4を持参いただけましたでしょうか。資料があるかご確認ください。資料がない場合においては、お持ちいたしますので、申出いただきますようお願いいたします。</p> <p>次に、本日の欠席者をお知らせします。</p> <p>レジュメの裏面、2ページの「浜田市行財政改革推進委員会 委員名簿」をご覧ください。名簿3番目の馬場（ハバ）委員及び名簿7番目の浜口（ハマグチ）委員が所用のため欠席されています。</p> <p>次に、市職員につきましては、3ページに「浜田市行財政改革推進本部幹事名簿」を掲載しています。本日は市長公室長、財政課長及び人事課長が欠席です。また、地域政策部長の代理でまちづくり社会教育課長が、産業経済部長の代理で商工労働課長が出席しています。</p> <p>なお、名簿の備考欄に“こめじるし”で記載のとおり、一部職員はテレビ会議システムにより参加しております。</p>
行財政改革推進課長	<p>それではここで、前回の会議の内容と本日の協議内容を確認いただきます。</p> <p>前回は、令和4年7月4日（月）にお集まりいただき、「浜田市行財政改革実施計画 令和3年度実績」及び同計画の「令和4年度計画（案）」を議題とさせていただきます。どちらも、推進委員会でいただいたご意見等を踏まえ、7月に策定し、8月に市議会へ報告したうえで公表しております。</p>

	<p>本日は、「浜田市第2期公共施設再配置実施計画 令和4年度別冊」についてご協議いただくとともに、「附属機関等の見直しに向けた進捗経過について」として、附属機関等の見直し方針や進捗状況を報告させていただきます。</p> <p>会議時間は、最大で1時間30分程度を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。それでは、以降の議事進行は、光延会長にお願いいたします。</p>
2 議題 (1) 浜田市第2期公共施設再配置実施計画 令和4年度別冊について	
光延会長	<p>それでは、協議事項(1)に移ります。</p> <p>「浜田市第2期公共施設再配置実施計画 令和4年度別冊」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(資料1について説明)
光延会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、委員の皆さまからご意見、ご質問をいただきたいと思いますので発言される方は挙手をお願いします。</p>
佐々木委員	<p>資料1の2ページに、サン・ビレッジ浜田アイススケート場の面積上の修正と書いてありますが、先日12月15日の山陰中央新報に、活用策の進展なしとありました。活用に当たっては中国地方へもっとPRして、旅行会社等でも、アクアスなど人気がある場所がありますが、浜田の観光地や食べ物、温泉などくっつけて、スケート場のお客さんを増やすように努力していただきたいと思います。放送局や新聞でもっとPRされて、もうやめるという方向で決定するのではなく、あと2年あるのであれば、もう少し何か活用に向けて努力されてみても良いのではないかと思います。また、カーリングも行われていますのでもっとPRできればいいと思います。アイススケート場については、決定するのに時間が限られていると思いますが、有意義に使っていただきたいと思います。</p> <p>次に、5ページの石中央文化ホールについてですが、方針は複合化となっています。ときどき映画を上映されていて、私は益田や江津へ見に行くこともありますが、島根県の映画祭など浜田で行われたときは中心地にあるにもかかわらず、人数が少なかったと思います。もっと集中して良い映画を上映しないと皆さんは他に行かれると思います。今の石中央文化ホールが、きちんと事をなしていないというか、物品販売といった使い方も多いと思いますので、もっと音楽や映画といった文化に使って欲しいと思います。それから、他のものと一緒にするかどうかを考えても良いのではないかと思います。</p> <p>最後に、11ページの通番109、110の原井幼稚園と石見幼稚園ですが、統廃合となっていますが、遊具はそのままにして公園にさせていただけるとありがたいと思います。</p>
教育部長	<p>まず、サン・ビレッジ浜田についてですが、令和2年3月に策定した浜田市スポーツ施設再配置整備計画において、今後も利用者の増加が見込まれない場合においては、アイススケート場としての利用を廃止して通年利用が可能な多目的広場への用途変更という方針が出されたことを受けて、この公共施設再配置計画においてもそのように記載をしているところです。しかしながら、委員ご指摘のとおり、浜田唯一のスケート場であること、また、カーリングの大会</p>

	<p>ができる西日本でもまれな施設であること、地元アイススケート団体からも存続の要望があったことなどをを受けて検討を進めているところです。令和3年、4年は新型コロナウイルスの影響を受けまして利用者の増加等はなかなか望めない状況でしたが、新型コロナウイルスの鎮静化後、利用者の状況を見て検討することとしております。アイススケート場として存続させる場合の利用者数の増加や効率的な運営を検討するとともに、多目的広場など別用途へ転用した場合にどういったことが望まれているのか、両方の面からの検討を今年度以降のところで行っていくこととしています。誘客につながる施策を打ったらどうかということについても引き続き検討させていただきます。</p> <p>2点目の石央文化ホールについてです。浜田市では2つ映画を上映している中で、1つを石央文化ホールで行いました。2つとも石央文化ホールで上映することで集客を図ればといったご意見ですが、ご指摘のとおりと思います。しかしながら、施設については定員が1,200名程度ということで採算を考えると中々難しい面があります。そういった中で地域に根差した企画を行い集客を目指しているところがございます。複合化といったことも検討はしましたが、収支の改善や集客を図れるといった観点から具体的なものはない状況です。</p>
健康福祉部長	<p>3点目の幼稚園についてですが、今後、長浜幼稚園の園舎を利用して浜田幼稚園として統合を行います。原井幼稚園、石見幼稚園の園舎につきましては、老朽化が進んでおりそのまま使うことは中々難しい状況ですので、残った幼稚園をどのように利用するのか、今後の課題として検討しているところです。</p>
佐々木委員	<p>原井幼稚園と石見幼稚園のことは分かりましたが、石央文化ホールについて、今年江津に行ったときは、1つの映画は、商業映画というか何か月前に、出雲や松江でやっておられたものでした。もう少し浜田も道徳的なものばかりでなく、出雲や松江でされたような映画を2、3か月後に持ってこられた方が皆さんに見られていいかと思いますが、今回は2つとも違いました。若い方だったら出雲や松江の方に行かれるかもしれませんが、今コロナ禍でなかなか行けませんので、そのような映画を持ってこられた方が良いのではないかと思います。今後は、教育的なものばかりではなく、1つは娯乐的というかそういう映画を持ってこられたら良いと思います。</p>
高橋委員	<p>多くのまちづくりセンターが地元譲渡や複合化となっています。これは令和6年3月31日までの評価検証を踏まえてということですが、どのようなことを評価、検証して地元譲渡できるかどうかを判断されるのでしょうか。</p> <p>また、私の住んでいる地域もそうですが、準備委員会を立ち上げて一生懸命頑張っておりますが、市としての指針といったものがなく、手探りでやっています。例えば地元譲渡が前提にあればそれを踏まえて話し合い、まちづくりも進んでいくと思います。ただ、地元譲渡した場合、維持管理費は当然地元が払うとして、大規模な修繕が生じたときはどうかとか、課題もたくさん出てくると思います。そういった規定をしっかりと作っていただいて、早く地元の人たちに知ってもらおうという方法が良いのではないかと思います。</p>

<p>まちづくり社会教育課長</p>	<p>評価検証の件についてお答えさせていただきます。</p> <p>公民館からまちづくりセンター化するときには15項目の検証報告書をいただいております。現在その報告書をもとに地区まちづくり推進委員会の代表の方や地域協議会の代表の方等にお集まりいただきまして、その項目ごとに検証している段階でございます。</p> <p>現在のところは、項目をもとに、まちづくりセンター職員やまちづくり推進委員会の方々にアンケート調査をしまして、今年度中に、令和3年度から行っていますが中間報告の取りまとめをしまして、来年度最終的に検証報告という形で進んでいる状況でございます。</p>
<p>介見委員</p>	<p>資料1の5ページ、浜田市の資料館を統廃合するというものだと思いますが、展示されている資料についてはそのまま展示するのでしょうか。一つの資料館にすべて置くのか、それとも、保管や寄贈、売却するのかなどといったことはすでに決まっているのでしょうか。</p>
<p>教育部長</p>	<p>資料館に展示している資料を今後どうするかということですが、現在歴史資料館に展示しているものはほんの一部でありまして、多くは色々なところで保管をしております。それを入れ替えながら、展示をしていますが、今後仮に統廃合した場合においても、今あるものについては基本的に保存する方向で考えています。廃止される施設や色々なところを探して、保管していきたいと考えております。</p>
<p>佐々木委員</p>	<p>先ほどのまちづくりセンターの話に戻りますが、石見まちづくりセンターや浜田まちづくりセンターなどは、その地区だけのものではないと思います。浜田地区というか、中々三隅や旭などの方は遠いのであまり関係ないと言われるかもしれませんが、まちづくりセンターは町内のものであるといった考え方だけではなく、特に市内のまちづくりセンターは余計に神経使われて、色々なことを考えて欲しいと思います。</p>
<p>まちづくり社会教育課長</p>	<p>おっしゃるとおり、まちづくりセンターはその地域だけのものではありません。市内、市外の方が活用していただいて構いませんし、そうしていただくのは1つの方法であると考えます。</p> <p>一方で、やはりその地域の中で、重要な公共施設ということで、まちづくりセンターがございますので、しっかり活用いただいて地域のまちづくり活動が進むような利用も考えていくことも必要となります。また、人口の多い石見や浜田まちづくりセンターについては、貸し館での利用というものがございますので今回の評価、検証の中で把握しながら進めていきたいと考えています。</p>
<p>岡山委員</p>	<p>単純な質問ですが、資料1の5ページ以降から、所管課方針で複合化というものがとてもたくさん出てきますが、複合化のイメージが施設によって全然違うのかなと思います。今までのものに、何かプラスアルファして機能を付けるのか、もともとあった施設同士を、建物新設せずに、建物内に機能だけ持ってくるという形なのかどちらなのかなと思いました。イメージがわからないものが結構ありまして、まちづくりセンターで複合化するものも非常に多いです。地域交流プラザまんてんも複合化となっておりますが、少しイメージが持ちにく</p>

	<p>いと感じました。</p>
行財政改革推進課長	<p>複合化の定義について説明させていただきます。複合化につきましては、共用部分等の面積の縮小または建て替えなどにより維持管理にかかる費用を圧縮するという事で、施設の機能をまとめることや、別々の機能であっても、建て替えによって面積を縮小し、継続させるというようなものと考えていただきたいと思います。</p>
浅浦委員	<p>雲雀丘小学校や第四中学校など学校統合について、10月に学校統合再編計画で策定されていると思いますが、何点かお聞きします。</p> <p>まず、児童生徒数が何名まで落ち込めば統合を進めていくのでしょうか。例えば1桁になったら、学級数が何クラスになったらといった基準があるのでしょうか。</p> <p>2点目に少子化がどんどん進む中で、当然生徒数が減っていきますので、市全体としての学校の配置、旧浜田市内や那賀郡の配置は、どのようにされていくのでしょうか。また、少子化が今後進んでいくと、学校運営がかなり厳しくなってくると思いますが、何か考えられているのか聞かせていただきたい。</p>
教育部長	<p>まず何人まで児童生徒数が減少すれば学校統合を進めるのかということですが、人数による基準は設けておりません。学校の統合再編にあたっては、基本方針として3点挙げております。</p> <p>1点目が、校舎の老朽化が進み大規模改修または建て替えが必要になったとき。2点目が、児童生徒数が減少して人間関係が固定化したり、切磋琢磨する機会が減ったり、中学校の部活動が行えなくなったりしているとき。そして3点目としては小規模化することによって教職員数が減り、学校運営が難しくなることということで考えております。ですので、人数ということではなくてこういう状況が見られるときに検討することとなっています。</p> <p>次に、少子化の中で統合再編計画をどのように考えていくかということですが、現在の計画においては、校舎の耐用年数が10年未満の4校について約10年間の計画を定めているものです。委員ご指摘のとおり、少子化の進展というのが予想を超えておりますので、先ほどの基本方針に鑑みて、策定期間というものも検討して参りたいと思います。</p> <p>それから少子化に対応した学校運営についてですが、児童生徒数が減ると教職員数も減りますが、かねてより教育委員会では、教員が子供に向き合う時間が増えるようにということで、働き方改革や業務の見直しを進めております。また、ICTを活用した教育環境の整備ということを進めたいと考えております。</p>
教育長	<p>基本的な考え方の流れを説明させていただきますが、まず学校の統合を考える時には審議会にお諮りするということがありまして、今回の計画は3年前の平成31年2月にいただいた審議会の答申をもとにしています。</p> <p>審議会に諮る前に、教育委員会として考え方を示していきませんが、やはり現実的には複式学級が生じるような場合は解消を目指したいということも1つの考え方として持っています。ただ、複式学級の場合でも、その地域の関係性で</p>

	<p>あったり、施設の新しさであったり、色々なことを総合的に考慮して、審議会で揉んでいただいて、今回、雲雀丘小学校などが挙げたものです。適正規模に課題はあっても、地域のコミュニティを維持していくために、中核的な役割を担っていますので、その辺りを総合的に判断しています。そのため、人数が何人ならどうするということはありませんが、基本的に複式学級となる規模の場合は、何らかしかり議論して、その学校をどうしていくかということを検討していく必要があります、それはその都度その学校の現状を審議会にお諮りし、いただいた意見を参考に、計画を策定しています。</p>
浅浦委員	<p>学校教育法の中で、小学校の学級数の適正な規模については12学級から18学級以下ということがありまして、浜田市が考えられているのはどちらかというと、その小規模校くらいをメインに考えて、例を挙げると波佐小学校や今福や美川も当然入ると思いますが、そういった50人以下のようなところも守っていくという形でのよろしいでしょうか。私は、小学校は地元で維持して、中学校は少し統合を進めてある程度規模を大きくした方が、教育上スムーズにいくのかなと思ったりもします。</p> <p>また、DXやGIGAスクールということが言われていますが、このGIGAスクールについては、ネットで見ますとゆとり教育以上の失敗というようにあり、機材を配布しただけで十分な活用がなされていないということが書かれていました。これをもっと利用すると小規模校と大規模校の交流やDXといったことがさらに進んでいくのかなと思いますがどう考えられますか。</p>
教育長	<p>国の基準を満たしているのは、現在、浜田市の規模としては、中学校1校、小学校1校程度です。そのくらい大きな統合を目指すかと言いますと、中々それは厳しいと思っています。そのため基本的に複式学級については、将来的にどこかで議論していかなければいけないと思っておりますが、詳細については次期統合計画を考えるときにしっかり議論する必要があると考えています。</p> <p>またGIGAスクール構想についてですが、機器の整備をさせていただいて、それを何とか使っていこうということで、色々な事例を示し、学校でこういう使い方ができるのではないかとということのを共有しながら進めております。まだ始まったばかりですので、もう少しお時間いただいて、しっかり進めていきたいと思っております。</p>
三浦委員	<p>2ページの防災備蓄倉庫の考え方についてお伺いいたします。これは、長沢防災備蓄倉庫を野原にある倉庫と統合するということでしょうか。1か所に統合して、備蓄倉庫を新築するというお考えでしょうか。</p>
総務部長	<p>長沢町の倉庫は古い建物を使っており、雨漏りなどで建物が使えなくなりましたので新しい倉庫を作ることと、それから防災備品をどういう形で配置をするかということを考えて、長沢町の倉庫を廃止して野原町に新設するものです。</p>
三浦委員	<p>その考え方についてですが、例えば明治何年かに浜田沖地震がありました。150年ほど経ってまた大きい地震が発生したときに、防災備蓄は1か所という考え方がすごく不安です。やはり西部、東部に1か所ずつあった方が良いのかなという感じがするのですが、考え方を教えてください。</p>

総務部長	<p>防災備蓄は庁舎にもありますし、学校やそれぞれの支所というような分散備蓄とそれから集中するものと両方で備蓄していく考えでございます。ですので、確かに場所によっては距離があるかもしれませんが、野原町はバイパス道路も近いですし、例えば最初に雪かきを行う道路でもあります。また、少し高いところに県の備蓄倉庫やヘリが降りられるところもあること等から野原町に作りますが、すべてそこに集中するということではございません。</p>
三浦委員	<p>人口規模とすれば長沢方面はかなり集中していますし、この度サブセンターもできますので、サブセンターにも少し備えておくようなことも考えておられるでしょうか。</p>
総務部長	<p>今まちづくりセンターには少しずつ備蓄等があると思いますので、サブセンターについてもそういった形で、少しは物を置くということは考えています。</p>
三浦委員	<p>ぜひ備蓄のことも考えていただきたいと思います。</p> <p>それから、石見小学校の建て替えについてですが、小学校の校庭にすべり台や鉄棒などの遊具がありますが、老朽化してすべて使用禁止の札がかかっています。令和8年度まで使えないということになりますと、小学校に通う生徒さんは、石見小学校の校庭で遊ぶことがないまま、新しい校舎になるという形ですが、老朽化した遊具の扱いはどのように考えているのでしょうか。もう直さずに小学校新築までそのまま使用禁止の札をかけておくという考えでしょうか。</p>
教育部長	<p>石見小学校の遊具につきましては、今後も使うもの、補修するもの、撤去するものというように現在調査をしております。石見小学校については撤去するものもあるかもしれませんが、必要なものについては補修するというところを検討しているところです。</p>
宮本委員	<p>学校統合の関係と重なるところがあるかもしれませんが、資料1の10ページ11ページのところで学校のプールについて、耐用年数が経過したら廃止とすることとなっています。これは学校複合化になっても結局はプールが無くなるという考えがあるのでしょうか。以前の会議でも質問した覚えがありますが、これについて教えていただきたいと思います。</p>
教育部長	<p>プールについては耐用年数を迎え使用困難になりましたら、室内プールに切り替えていくということで整理をしております。</p> <p>小学校では年間8時間程度プールを行っております。多くの学校は室内プールを利用しております。学校が老朽化する中で、そういった方向に整理していくということになるかと思えます。</p>
宮本委員	<p>山間部から浜田のプールに通うとなると中々難しいところがありますのでやはり教科の関係で、例えば金城はすべて廃止となっておりますが、1か所残すといったことは難しいのでしょうか。スクールバスで浜田のプールに行くということになるのかもしれませんが、教科に必要なことがあれば、そういうところのフォローも必要だと思います。耐用年数を過ぎたから廃止しますという意味合いもおかしいのではないかと思います。質問させていただきました。</p>
教育長	<p>現状、浜田の室内プールですべての学校の授業を受け入れることは無理でして、例えば弥栄のプールを美川小学校が使うといった形で、ある程度の数の確</p>

	保が必要だと思っています。学校のプールが老朽化したからすべてを廃止するという予定はありませんが、そうした授業に影響が出ないようエリアごとに必要なプールを残していくことを考えています。
2 議題 (2) 附属機関等の見直しに向けた進捗経過について	
光延会長	それでは、続きまして議題(2)に移ります。 「附属機関等の見直しに向けた進捗経過」について、説明をお願いします。
事務局	(資料2について説明)
光延会長	ただ今、説明がありました。 それでは、委員の皆さんからご意見、ご質問をいただきたいと思いますので発言される方は挙手をお願いします。
岡山委員	資料2-3について、以前も申し上げたことがあります。40歳未満の登用や女性の登用を増やそうと思えば、その方たちが出席しやすい時間帯や方法があると思います。今回職員の方はテレビ会議システムで参加されていますが、例えば、オンラインで参加ができるようにすれば参加が増えると思いますので、検討していただければと思います。
行財政改革推進課長	この度40歳未満ということで改正させていただいたところですが、あくまでも積極的な登用ということでご理解いただきたいと思います。また、会議の開催時間や開催方法については今後も検討してまいります。
石川委員	見直し点について、市の職員は必要がある場合を除き選任しないとのことですが、その理由はどのようなことでしょうか。また、退職された方を積極的に選任するということがあっても良いのではないかと思います。
行財政改革推進課長	市の職員につきましては、通常担当課として会議に出席しているような状況でございますし、審議に参加できるような運営も可能であることから、このような規定を検討しております。 なお、市の職員が自治会の役員を就任しているといったこと等も想定されますので、こういった場合の参加を禁止するものではありません。
浅浦委員	色々協議会がある中、本で読んだのですが、無作為抽出の委員選出というものを福岡県大刀洗町で行われています。非常に積極的な市民の意見が出されているというのを見まして、まちづくりに関してはそういったことも少し試されてはどうかと思っています。まちづくり条例を見ても、ひとりひとりが当事者意識を持ちと定義されていますし、市民参画の方法について、市民等が意見を述べ、提案することができる機会として、第1に審議会等での審議等と書かれています。人口が減っており、団体推薦といったものだけでは意見が出しきれないと思いますので、このような形で市民の意見を反映するようできないかと思いますが、いかがでしょうか。
行財政改革推進課長	無作為抽出方式による委員選出につきましては、例えばつくば市、八千代市、八王子市等で導入、検討されていると認識しているところでございます。既に導入された市の状況を確認しますと、ある程度の人口規模を有する市であっても、必要な委員数の確保に苦慮されている状況が見受けられます。また、募集から名簿の管理に至るまで新たな行政コストも見込まれますので、導入する場

	<p>合には、このコストを、何を削って吸収するかといった検討も必要だと認識しております。現在、当市における無作為抽出方式による委員選出は調査研究の段階であります。行政活動に無関心な方などに関心をもつていただく良い手法の一つであると認識しております。引き続き、当市にあった市民参画の手法を検討してまいります。</p>
浅浦委員	<p>この本の中にOGの方のインタビューが載ってしまっていて、最終的には会議を立ち上げて支援していくような形で、その方は住民のプロになりたいと言われていました。議員さんになりたいとまでは思わないが、住民の声を議員や行政に伝えるプロになりたいとのこと。こういう方が増えればまちづくりも変わっていくと思いますので、ぜひ研究、検討していただきたいと思います。</p>
石川委員	<p>こういった会議体を見直して、効果を検証することは大変なことだと思います。今後の方向性は定かではありませんが、廃止や統合といったものが出てくるかと思しますので引き続き進めていただければと思います。ただ、このように会議体を少なくすることで、余った財政力や職員さんの労働力を住民サービスへつなげていくことが本質だと思います。減らせばいい、切ればいいということではなく、パブリックサーバントとしてどのように住民サービスを維持、提供していくのかということの、1つのツールでしかありません。あとは住民があて職などによりいくつもの役職を持つということを解消しなければいけないという観点もあります。先ほど言った住民サービスをどうするかということですが、職員、OBの方は行政のプロです。そういう人たちが地域活動やまちづくり、自治会町内会に積極的に参加して引っ張っていくのが本来の姿だと思います。色々な委員会で言っていますが、まずはここにしっかり舵を切っていけないといけません。私たちの地域でも地域活動に現職、OBの方は中々出てきませんが、こういった現状のどこに問題があるかと言ったら人事考課だと思います。もちろん職員の方で地域のために一生懸命動いている方がおられることも知っています。そういった方は現場で生の声を自分が体感するわけですから、それを副市長や市長へ上げていけば、市長が若者を集めて意見を聞くということも必要ありません。地域に出て一生懸命やっている人とそうでない人の評価が変わらないということに問題があると思いますが、副市長いかがでしょうか。</p>
副市長	<p>最後にまとめて回答させていただくということでよろしいでしょうか。</p>
会長	<p>改正について質問ですが、従来の指針において、附属機関に類するものとして幅を持たせていたものを、この度懇談会等と定義されています。この懇談会等には、資料2-1裏面の表における内部協議会や外部協議会も含まれると考えて良いでしょうか。</p>
行財政改革推進課長	<p>失礼しました。等は不要であると考えますので修正等行ってまいります。ご指摘ありがとうございました。</p>
佐々木委員	<p>40歳未満の若者委員の登用を積極的に行うとのことですが、年配の方でも良い意見をお持ちの方はおられます。都会に比べて浜田市は年配の方が多いと思いますので、誰が出て良いような会議というか、誰もが出たいと言うような組織にしていきたいと思います。</p>

石川委員	<p>指針について、特別な事情がある場合市職員は選任していい、ということですが、OB、OGといった元職員の人たちについても規定できないでしょうか。指針の第4条第2項の第2号に該当する人たちです。これを第4条の第1項に規定して、浜田市の指針として示していただけると、私たちの自治会、町内会でも運用ができるのですが。</p>
行財政改革推進課長	<p>この場でそういった形で修正をしますということはお答えしづらいですが、総合的に判断して条文等を検討させていただきたいと思います。</p>
3 その他	
光延会長	<p>それでは、その他ということで事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>それでは今後の予定をご連絡させていただきます。今年度の会議は、本日をもって終了の予定です。本日は年末のお忙しい時期での開催となりましたが、ご出席いただき誠にありがとうございました。</p> <p>来年度につきましては、例年どおり「浜田市行財政改革実施計画」及び「浜田市公共施設再配置実施計画」の進捗状況をご協議いただくとともに、引き続き「附属機関等の見直し」についてもご意見を伺う予定ですので、よろしくお願い致します。</p> <p>また、委員の皆さまの任期が、来年の7月7日までとなります。任期中にもう1度会議を開催したいと考えておりますが、新年度から委員改選の準備を進めさせていただきます。</p> <p>以上です。</p>
光延会長	<p>それでは、最後に副市長から挨拶をいただきます。</p>
砂川副市長	<p>本日は非常に貴重な意見をありがとうございました。こうして活発な議論をいただくことは今後の市政運営に大変参考になると思っております。</p> <p>まず、サン・ビレッジ浜田について、中々方針が出ず止まっているようなイメージを持っておられると思います。今年度もコロナ禍は収束しておりませんが、ウィズコロナということで地域活動を一緒にやっというということで、サン・ビレッジについても利用者がこれから少し増えてくると思いますので、来年度くらいにはサン・ビレッジの今後の方針もしっかり検討して、皆さまにお示しできるようにしなければいけないと思っております。</p> <p>次にまちづくりセンターの取り扱いです。協働のまちづくりになりまして特にまちづくりセンターはその拠点ですので、これをなくすというようなことは当然逆行するものだと思っております。本日の資料に、譲渡や統廃合とありましたが、譲渡というのは浜田地域にある分館、すでに地域で維持管理をいただいているものについて、地域でそのまま受けていただきたいという状況で、統廃合については中々難しいとは思っておりますが、まちづくりセンターをしっかり活用していただいて、地域活動が盛んになるように取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>また学校統合については、教育長から説明したとおり審議会等もあります。今後、子どもの数が減る中でどのようにしていくかは、皆さんの意見をしっかりと聞きながら、児童生徒がしっかりと学べる場を確保するという意味で考えてい</p>

	<p>きたいと思います。</p> <p>議題 2 の附属機関等の見直しでは、先ほどウェブのお話、オンライン参加のお話しいただきました。実は市議会でも、委員会や全員協議会では、オンライン参加ができるようになっておりまして、今回、早速濃厚接触者で自宅待機しておられる方が、ウェブで参加されたということもあります。今後はこのようなことを活用して、先ほどありましたように時間帯や参加の仕方も十分考えながら多くの方にご意見いただけるように、考えていきたいと思います。</p> <p>最後に、委員からご質問いただいたことについてお答えさせていただきます。まず行財政改革の考え方はおっしゃるとおりで、目的ではなく手段でございます。行財政改革を行うことによって財源を確保して、より市民の皆さんのサービス向上を図るというのは当然のことで、私たちもそういう認識をもっております。お金がいくら減ったからよかった、頑張りましたではなく、それをどこにどのように活かしたか、このお金をここに使いましたということは中々表しにくいですが、総合振興計画の審議会等でもお示しをしながら、行革によるお金を有効に使うという努力をしていきたいと思います。</p> <p>また、もう一つ、以前からいただいている大きな課題であります、地域活動への職員やOBの参加についてです。これについては市長からも声をかけておりますが、中々成果に結びついてないというのが現状でございます。職員については、当然市長に命令権ありますけれども、先ほどありました人事評価の項目に入れることや、職務命令など色々と方法がありますので、今後職員が地域活動に参加できるように取り組んでいきたいと思います。OBの方については、先ほど指針等へ入れ込むといったご提案をいただきましたので、そういうことも踏まえて取り組みたいと思いますし、浜田市には退職者会というOBの方が所属する組織もありますので、そういったところにも働きかけて参加いただくようにしたいと思います。OBの方へ私たちが強制的に指示するというのは無理ですが、やはり市の職員として働いていた以上は、そういうことも改めて理解していただいて、地域活動の先頭に立っていただけるように、これからまた声かけや色々な対応をしていきたいと思います。いずれにしましても、やはり職員が中心になって地域に出かけ、こういう会議で地域の方の声をしっかり聞く、その双方向のキャッチボールができてないと、良いまちづくり、市政運営ができないと思いますので、しっかり頭に置いてまた職員へそういうことを伝えていきたいと思いますのでどうかよろしく願いいたします。</p>
光延会長	<p>以上もちまして浜田市行財政改革推進委員会を終了いたします。長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。</p>

(15 時 10 分閉会 所要時間 1 時間 40 分)